

文を書こう

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📅 きょうの
めあて

「だれが（何が）」と「どうする」がそろった文を書こう

🔍 まず、たしかめよう

- 文には、「だれが（何が）」と「どうする（どんなだ）」がある。
- 文のおわりには、まる（。）をつける。 れい：犬が 走る。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「ねこ」「ねる」をつかって、文にすると？

ステップ①

だれが？
→ ねこが

ステップ②

どうする？
→ ねる

ステップ③

ねこが ねる。

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

① 文になっているほうに○をつけよう。

☐

花が さく。

☐

赤い 花の

② ことばの ばこ から1つずつえらんで、文を書こう。

えらぶ 鳥が 風が なく ふく

③ 「だれが」をえらんで、「どうする」を考えて、文を書こう。

☐

ねこが

☐

かえるが

☐

ぼくが

☐

わたしが

答え

1. 花が さく。

2. 例：鳥が なく。（風が ふく。）

3. 例：かえるが はねる。

何について書いてある？

Q たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

P きょうの
めあて

みじか ぶんしょう

短い文章を読んで、何について書いてあるか つかもう

Q ぶんしょう
文章を読もう

ねこのひげは、とてもよくはたらく。ねこは、せまいすきまを^{とお}通れるかどうかを、ひげでたしかめているのだ。

いっしょにやってみよう

れい ぶんしょう
この文章は、何について書いてある？

ステップ ①

はじめの文を
読む。

ステップ ②

「ねこのひげは」
と書いてある。

ステップ ③

ねこのひげ

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① ひげは、どんなところで^{やく}役に立つと書いてある？

せまいすきま



高い木の上



水の中

② ねこは、ひげで何をたしかめている？

③ 「とてもよくはたらく」のは何？



ねこの耳



ねこのひげ



ねこの足

答え

1. せまいすきま

2. せまいすきまを^{とお}通れるかどうか

3. ねこのひげ

かんじ
漢字（からだ）

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう（2もん）

🏠 きょうの
めあて

からだの漢字「身・鼻・歯・皮」を読んで書こう

🔍 きょうの漢字

身

音 シン

訓 み

しんちょう なかみ
身長・中身

鼻

訓

はな はなみず
鼻・鼻水

歯

音 シ

訓 は

は むしば
歯・虫歯

皮

音 ヒ

訓 かわ

ひ かわ
皮ふ・皮

🗨️ いっしょにやってみよう

れい

「はなをかむ」の「はな」は、どの漢字？

① 花？ からだ？

② からだの「はな」

③ 答え 鼻

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 身長がのびた。

(2) 歯をみがく。

(3) みかんの皮をむく。

(4) 鼻でにおいをかぐ。

② □に漢字を書こう。

(1) の回りをかたづける。(2) 水が出る。(3) 虫 に気をつける。(4) バナナの をむく。

答え

1. (1) しん (2) は (3) かわ (4) はな 2. (1) 身 (2) 鼻 (3) 歯 (4) 皮

しゅご じゅつご
主語と述語①

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

しゅご じゅつご
文の中から 主語と述語を見つけよう

🔍 まず、たしかめよう

- 「だれが（何が）」にあたる言葉を **主語** という。
- 「どうする」「どんなだ」「何だ」にあたる言葉を **述語** という。
- れい： 犬が 走る。（主語＝犬が 述語＝走る）

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「花がさく。」の主語と述語は？

ステップ ①

「何が？」
→ 花が

ステップ ②

「どうする？」
→ さく

ステップ ③

しゅご 主語 花が
じゅつご 述語 さく

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 「鳥が鳴く。」の主語は？

☐ 鳥が

☐ 鳴く

② 「弟が本を読む。」の述語は？

☐ 弟が

☐ 本を

☐ 読む

③ 「空が青い。」の述語は？

☐ 空が

☐ 青い

答え 1. 鳥が 2. 読む 3. 青い

かんじ おん くん
漢字の音と訓

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📅 きょうの
めあて

かんじ おん くん
漢字の「音読み」と「訓読み」を知ろう

🔍 まず、たしかめよう

- 漢字には、**音読み**と**訓読み**がある。
- 音読み...むかし中国から伝わった読み方。聞いただけでは、いみがわかりにくい。
れい：山（サン）
- 訓読み...日本の言葉をあてた読み方。聞くと、いみがわかる。 れい：山（やま）

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「水」の音読みと訓読みは？

ステップ ①

「スイ」と読む言葉
→ 水曜日

ステップ ②

「みず」と読む言葉
→ 水たまり

ステップ ③

音は **スイ**
訓は **みず**

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の読み方は音読み？ 訓読み？ 「音」か「訓」を書こう。

(1) 山に登る。

(2) ふじ山

(3) 水をくむ。

(4) 水曜日

② 「海」の音読みと訓読みを書こう。（音はカタカナで）

音

訓

③ 「草」の訓読みはどちら？

☐ ソウ

☐ くさ

答え 1. (1) 訓 (2) 音 (3) 訓 (4) 音 2. カイ・うみ 3. くさ